

科目名	ディプロマ・ポリシー	【1. 専門知識の自立的学習能力と活用能力】	【2. 生命科学技術者倫理の理解と活用能力】	【3. 問題分析力と解決能力】	【4. 論理的コミュニケーション能力と情報発信能力】	【5. 国際的貢献能力】	科目の教育目標
		生命科学の基礎として生命科学の幅広い分野を自立的に学習・理解し、それを応用する能力を有する。	生物の多様性や生物学技術が生物及び地球環境に与える影響を理解し、健全な社会や環境の保全・創造に寄与する能力を修得している。	主として生物工学的な視点から、現代社会が直面する種々の問題を論理的かつ明確に分析し、それを解決する能力を有する。	問題点の把握・分析・解決立案の過程を論理的に表現して伝え議論するコミュニケーション能力を有する。また、研究成果等の情報を分かり易く社会に発信できる能力を有する。	豊かで健全な国際社会構築のための国際交流や国際協力に積極的に寄与できる能力を有する。	
総合科目	知的財産論	◎	○	○			知的財産権の概念についての理解を深める。特許法、商標法、意匠法、著作権法について理解する。知的財産の活用法の基礎について理解する。
	ニュービジネス特論	○	○	◎			ベンチャービジネスを起業するために必要な知識を習得するとともに、ビジネスプランを作成できるようになることを目標とする。
	技術経営特論			◎	○		【ユーザー中心主義】ユーザー、市場観察から課題抽出ができる。【フィールドワーク】課題に関連するフィールドワークを実施し、その情報から課題を正確に分析できる。【アイデア創出】独創的、創造的なアイデアを提案できる。【プロトタイプ】作成したプロトタイプをユーザーに利用してもらい、各種フィードバックの内容を基に改善できる。【協働性】作業分担の割り振り、仕事量の分担も適切にメンバー全員で活動する。【プロジェクト管理】定められた期間内に、メンバーリソースを管理して最終のソリューション提案まで作り上げる。
	国際先端技術科学特論1	○			◎	◎	世界の先端技術・科学に関する専門的内容を学修し、国際的な技術動向や科学の事情について理解を深める。先端技術・科学に関する専門的内容を英語で理解し、英語による表現力やプレゼンテーション能力を深める。
	国際先端技術科学特論2	○			◎	◎	先端技術・科学に関する専門的内容を学修し、外国の技術動向や産業の事情について理解を深める。先端技術・科学に関する専門的内容を理解し、英語によるコミュニケーション能力を身につける。
	長期インターンシップ(M)			◎	◎		自身の専門性や技術の価値を経営的な視点を持つて語る事ができる。技術と社会のつながりを広くとらえ、共同研究等の中で高い倫理感を養う。探究した課題に動山組ネットワーク
	ビジネスモデル特論			◎	○		1. 技術や資源を活用したビジネスモデルの基礎的知識を習得する。2. ビジネスプランを作成し、その内容を伝える能力を習得する。
	プレゼンテーション技法(M)		○	○	◎		学会、会議における発表の知識・経験を有する。
	企業行政演習(M)		○	◎	○		組織の仕組みや業務の流れ、組織目標を達成するための戦略と実践を理解する。実社会、職場における人間関係やマナーなどに対する理解を深める。
	課題探求法(M)	○	○	◎			企業との共同研究や、それを通じたベンチャービジネスおよび地域連携活動へ展開した経験・知識を有すること。
環境工学科目	環境システム工学特論	○	◎	○			環境とエネルギーに関する幅広い知識と視点・思考力を身につけ、柔軟な発想で環境問題を工学的・技術的に解決する能力を養う。
専攻内共通科目	化学環境工学特論	○	◎	○			工学分野における環境問題の現状を理解する。環境問題を解決する能力を身につける。
	生物環境工学特論	◎	◎	○			生物資源の現状と利用法を理解 生物資源変換工学を理解 バイオレメディエーションの原理と方法について理解
専門科目	物性科学理論	◎	○	○			量子力学の基礎概念を理解する。簡単な系に量子力学を応用できる。
	超伝導物質科学	◎	○	○			超伝導の基礎概念を理解する。
	計算数理特論	◎	○	○			様々な数値計算法について、基本的な考え方を身につける。
	数理解析方法論	◎	○	○			特殊関数、直交多項式などについて基本的な知識を得るとともに、差分方程式を扱えるようにする。
	生物物理化学特論	◎	○	○			溶液の巨視的、微視的および電気化学的取り扱いを理解する。生体高分子中へのリガンドの分配様式および麻酔分子機構を理解する。
	細胞生理学特論	◎	○	○			タンパク質の座標ファイルを利用・編集できる。レポートで評価viewerプログラムをマスターする。レポートで評価
	微生物工学特論	◎	○	○			微生物機能を基盤とする微生物工業と微生物制御について説明することができる。
	分子機能工学	◎	○	○			生体機能修飾物質の分子設計が理解できる。生体機能修飾物質の構造活性相関について説明できる。
	応用生物学特論	◎	○	○			生物学の概要を理解する。生物学特論を理解する。
	生物機能工学特論	◎	○	○			重要な発見がどのようにしてもたらされたかについて理解する。これらの発見が我々の生活や研究にどのように応用されているかについて理解する。
	酵素学特論	◎	○	○			医薬品として利用される酵素に要求される性質の理解 医薬品として利用するための酵素デザイン
	生物反応工学特論	◎	○	○			バイオマスリファイナリーとその関連事項について理解する。バイオマスを利用したエネルギー、化学品生産プロセスについて理解する。近年のバイオマスを利用した研究事例について理解する。
	分子生物学	◎			○		遺伝子工学的手法が応用されている実情を理解する
	生体高分子化学特論	◎	○	○			生体高分子の構造と機能の原理を理解する。最新の研究論文に基づいて、生体高分子の分子認識機構や生体高分子の機能化について理解する。

科目名	ディプロマ・ポリシー	【1. 専門知識の自立的学習能力と活用能力】	【2. 生命科学技術者倫理の理解と活用能力】	【3. 問題分析力と解決能力】	【4. 論理的コミュニケーション能力と情報発信能力】	【5. 国際的貢献能力】	科目の教育目標
		生命科学研究の基礎として生命科学の幅広い分野を自立的に学習・理解し、それを応用する能力を有する。	生物の多様性や生物学技術が生物及び地球環境に与える影響を理解し、健全な社会や環境の保全・創造に寄与する能力を修得している。	主として生物工学的な視点から、現代社会が直面する種々の問題を論理的かつ明確に分析し、それを解決する能力を有する。	問題点の把握・分析・解決立案の過程を論理的に表現して伝えるコミュニケーション能力を有する。また、研究成果等の情報を分かり易く社会に発信できる能力を有する。	豊かで健全な国際社会構築のための国際交流や国際協力を積極的に寄与できる能力を有する。	
	生体熱力学	◎	○	○			生体関連物質が形成する分子集合体の熱力学的取り扱いを理解する。 生体関連物質集合体の性質と環境変数の影響について理解する。
	生化学特論	◎	○	○			多細胞生物における情報伝達による制御機構を分子レベルで理解させることを目的とする。
	細胞生物学	◎	○	○			最新の細胞生物学技術やその応用例を説明することができる。 細胞生物学関連技術について発表・討議できる能力を身につける。
	半導体ナノテクノロジー特論	◎	○	○			半導体ナノ構造の物性とそのデバイス応用を理解する。
	生命テクノサイエンス論文輪講		○	○	◎	○	論文の内容を解説する方法を学ぶ
	生命テクノサイエンス演習		○	◎	○	○	研究方法の習得
	生命テクノサイエンス特別実験	○	◎	◎	◎	○	実験方法の習得